

 テンタ
Pelikan
 GUNTHER WAGNER
 日本人總代理店 日伯

國家總力へ一段拍車
帝國政府、重大聲明を發す

云ふ秩序に來り參するに於ては敢て之を拒否するものに非ず

帝國政府は列國も亦帝國の意圖を正確に認識し東亞の新情勢に適應すべきを信じ、曩は、就中盟邦諸國從來の交誼の對しては深く之を多とするものなり

茲に政府は帝國不動の方針決定を聲明す

建設は我華國の精神に淵源之を完成するは現代日本國に課せられたる光榮ある責に當るべきを斷行し、於今、總力の擴充を計り邁進せざべからず

能ふに東亞に於ける新秩序の

最も單的に表明

[illegible]

首相、國民の理解と協力要望

【東京三日特電】近衛首相は三日午前九時十分より五十分間に亘りA.Kのマイクを通じて政府聲明の内容を敷衍して帝國の向ふ所を明確に説き、變遷の目的達成のため時局に對する國民の理解と支持とを要望した、放送内容は以下の通り

本日茲に明治節を迎へ明治天皇の聖徳を偲び奉るに際し平和の御堂に關し政府所見を開陳するは私の光榮とす此等諸君に引續いて支那内地東路等に於てある支那人民の心臓漢口もまた我有に歸し

錦旗 支那の全機能を市の全線を包有する七大都市の軍隊即ち所謂中原は全く日本軍の掌中にあるは即ち天下を制するものなり

を制す、蔣政權は事實上終つた一地方政權に轉落し終つたのである、日本は一方に於て外部から日本の平歩を排撃するに足る充分の精銳なる一戰闘力を保持し、餘裕綽綽たるのである、これ僅にたのである、これ僅に陸下の御機成の上を思ふなら陛下の御機成の上のである、つて日本國民の意氣は比較的高きまで高揚したるべきである、この輝し戰果を述べて

藏相、佳節を期し強調

「東京三日問答」 池田蔵相は政府聲明と同時に長期建設設備に處する財政經濟政策について一語話した。國民の一般の緊張、協力を要望したがその内容は略に過ぎである。武蔵政略の通りましてこゝに表れよう。即ち率す、謹んで御心を叩き奉り、忠勇なる帝國陸海の將兵の絶大なる勞苦に對し深甚なる敬重を表する次第であります。武蔵政略は今事變所期の目的達成上重要な一段階を畫するものであることは勿論であります。これによつて財政經濟政策の根本に變更があるであらうと考へるものがありますならばそれは甚だしき早計であると云はなければなりません。我國と致しましては事變の目的達成に努力すべき時期は寧ろ今後にある。東亞強權に拮据する資力を開發し産業を振興するの條件であります。これに我國將來の發展を期す所以に我國努力を盡す。これこそ今後我國にとりまして伊野一致の努力であります。遂行すべき重大任務であります。

東亞再建に協力せよ

「東京三日同盟」支那に於けるコシテルンの破壊工作から東亞を救ひ新しき世界秩序の一貫としての新しき東亞平和對策と人類の新たな福祉に貢献すべき新文化形態を相互するにあることを以てたれん大企業に際し支那赤化についてはソヴエトに支那赤化についてフットハントを供與せんとするに過ぎないことを充分認識すべきである、この點米國側に於て充分なる認識を深めるならざる下各新聞の多くの裏

軍票一本槍に決定

上海二日間盟」中支日本軍は既に中支占領地域内に於ける軍票の流通力と信用の領域内に於ては從來から使用通貨を軍票一本立にするものと根本方針を決定して、軍票一般に於ては充分從來の通貨と同等の信用力を持つて流通し、日銀券が銀行より

赤色ルート確保へ

赤色ルート確保へ
支那側必死の防衛準備

支那側必死の防衛準備

上海一日同盟、日本軍の廣
く武漢の占領による京漢、
歴史上に

炬火

を點したる支那
民族は其の偉大
業を發揮し新東亞建設の世
界文化に新たな光明を照
らす

廣く、粵漢三鐵道の邊端は抗
日救國權によつて正に致命的
打撃で、このことは支那の
事實當局も是認し、支那
が絶滅を期するものつ
幸ひ及び「防共の盟國」
及びイギリスの日本東
亞に於ける援助に共感
を鼓舞する所大な

根本的修正の必要を認め正
義を確立せんが要望す
ものである、もとより日
本は列國との協力を排斥す
るものではない、又第三國
の正當なる權益を損傷せん

に止まらせず通産資源、文化等の人間各部門に亘りこれを

たる見地に立脚し、現實に即
 したる一歴史的發展に平行
 する新平和態勢が創造せら
 れねばならぬのである。而
 して以上の諸條件を

確信

我ら皇室の御長
 念誦する所の常に拜祭
 し奉る時我等国民たるもの
 は道德的使命の重且大なる
 に恐懼感激せざるを得ない
 のである、新らさき東亞の
 建設を擔當すべく日本は今
 其の國民生活の全分野に於
 て急を要し持久帝國の眞
 目的達成に献身せねばなら

上ることが機期であることであつて國民としての此の緊要性は、輕微をなまざるべき時期ではなかつた。要するに今後國民は尙長期に亘つて經濟上福利の不平等を忍ばねばならぬのである。要するにこれは決して遺憾退却を意味するものでない。長期建設が困難を克服し、長期建設の幸福を享受するを期待すべき積極的なものにならねばならぬ。すなはち、この意味におきまして今後國民は、歴歷困苦久々の精神を固め、民権の若輩雖に堪へ、進んで政府への政策に協力し、國民が行政の事實上の貫徹に過誤せねばならぬことを第一の次第である。

されたる軍路と支那の鐵路は西南及び西北の統制と若干の鐵道のみを以てなされ悲愴を擧げざるを得な。重慶來れるれば支那國國外よりもの拘はらず支那國國外より兵器輸入の途を阻むに完全には遮斷し得ないといふ理由のとに最近現下支那の大國際生命線たる支那と新疆を經て蘭州、西安に至る鐵路を遮斷し以て支那の物資の對支援助せしめんとしつゝ恐怖を抱き、右鐵路が支那

にとつては生命にも代へ難
 重要な幹線のことゝて絶對的
 これを護る必要があるとし
 これが確保に必死となつて
 ると

神戸華僑
 聯盟委員會宛祝
 電宣言を發表

神戸三日同盟）神戸在住華

三千五百名のリーダークラスを持つ神戸華僑振興會は南聯合委員會に呼應し二日正神戸明海ビルに第二回大會開催し聯合委員會宛祝電をした後左の如き宣言を發表した

宣 言

我等神戸に留華僑は國民黨並に共產黨の一切を抹殺し新政權を擁護し東亞和平の

實にこの不合理にその根本原因があるのである、國際正義をして一個の美文たるに止まらしめず通商、移民資源、文化等の人間生活の各部門に亘りこれを綜合し

確信 我が皇室の御宸
金遊ばされる所を拝蒙
し奉る時我等臣民たるもの
は道徳的使命の重且大なる
に恐懼感激せざるを得ない
のである、新らしき東亜の
建設を擔當すべく日本は今
いて愈々堅忍持久帝國の眞
目的達成に献身せねばなら

するものである
諸条件を
する上
に即し現實に即
したる地、歴史の發展に平行
する新平和態勢が創造せら
れねばならぬものである、而
して以上の諸条件を

夢い夢にも似た
乙女心の切なさ……………
唄ふは我が歌姫 渡邊はま子
乙女心ザウオいの
何も言はずに言はないで
黙つてひとりむたいのよ
乙女十九のこの心
いのいのの
それでたのしい私なの
いのいのうれしいの

(一九七五)

急募

女事務員 二、三名 但し日本語の解る方
 少 年 一、三名 工場勤務 十七、八歳位
 至急募集す、要履歴書、高給支給
 詳細面談 左記へ

日伯新聞社

治療・防滅上
合理的の優秀な武器
A・O
地方販賣代理店
伯社營業部
市 郵園 三七五番

結核治療
最も
男女一切に應用
無副作用
唯一・無敵の靈藥
日付
靈

健康増進上
最も適確なる掩護引
A-O
幼乳
絶對無害
世界
輸入元
原商會
總市 郵函 二〇一二番

(右) 事領總根坂るべ述を辭祝と瞬一の拜遙宮神治明



も後の落陥口漢

弛めるな！心のネヂ

聖戰の目標は長期の彼岸
覺悟はよいか國民の心構へ

没落國民政府が敗戦の形骸を横へて虚勢を張つた最後の一線漢口も皇軍の向ふ血は離なく脆くも陥落した。この歴史的偉大な吉報を受けた國民の血は躍る、その興奮を擲へて「漢口、廣大は東部陥落した勝利の乾杯は感謝のうちに舉げよう、しかし漢口、廣東、東部陥落その後に来るものに對する國民の心構へは出来たか、聖戰の目標は漢口陥落の後方にある、漢口陥落の勝利に溺れて軍械の目的を忘れては一大事、萬が一にも長期戦下の國民が心の平氣をゆるめたら戦線の兵隊さんに申請がない、勝つて兜の緒を綱よりせ

多賀さん、どうぞ
托す慰問の玉章

愛國婦人金田さん

日本人會主 去を二十七日アペレ、二十
落脱勝會が 八日サント・クルス太陽權
に滿ちし 民地の講演會を濟ませた多
宮坂日會 賀從軍記者は休む間もなく
ケ代二唱、その足が最後の講演地ジュキ
對總領事脱 方方面に突いたが、着伯以來
に對する 生々しい從軍體驗談を提げて
感なし、感の氏の講演は在留同胞の心を

強く衝ち各地に幾多の感
を展開してゐるが、これも
一篇――去る一日朝多賀賓客
がアレクシンの講演を
セードロへ向ふ途中、
ロバリス驛で一人の日本
人があつたといふ列車に
つけ四、五通の靜かな封
多賀記者に手渡し行つ
この婦人は附近に住む北
江さなといふ封箱は金
に奮戦する皇軍將士への

憲法改正説はデマ

ゼツリオ大統領氣乗り薄

今月十日即ち新憲法公布一周年にわゆる新國家誕生一年を期して、聯邦政府は更に現在の憲法を修正するとの噂が頻りに傳へられ、一部は修正憲法の是民主主義に達し、在りて憲法は大同小異のものとなつた、又、一部は「憲法改正の色彩は濃いもの」と云ふとかのデマが頻んだが、思ふ通り、思ふの間ではゴッソー大館には憲法改正の意志など全然無い。或は又産業五ヶ年計畫案に伴つて云はれた行政區劃の變更即ち現在の州組織の改廢も實行されるに様である

(01) てね訪を花の場職



ツ
リ
全

金銭出納器と取ツ組む

た一軒である
（寫眞）の如く向つて右か
ら長田次が高橋は
ちんさん、子供の次が高橋は
るゑさんである。水守きみよ
（三〇さん）である。この子供
はバートン岡本氏の長女マ
マリヤンで寫真を撮るとい
ふので一寸仲間入りである
のである。誤解するとい
けないから、斷つて置くこ
とに彼女達の職場であるが
田中子きさ子、金屋出納係
今頃（此嬢作地帯の店員はづ
れも開設と閉古島でも鳴いて
る、目曜日は實上）が急に驚つ
てカイシヤ係は相當お忙し

である
これがサフラ時季になる
變なもので午前八時店が
のを待つて
（お客様） が押しかけ
六時まで
を機織一服する暇さへな
カイザ・セギ難波町の男
員十二、三人がボルセン
クを曳ぐる今日の色紙
やんが一人で金銭出納器
にガチャンと朝から晩ま
と組んでゐる
カイシヤ係が一人前と

カザ・セギの巻

戰場の花は聖市ばかりでない
い、異地にだつて花は清山咲
いて居りますヨ」……マリヤ
ンから職場の花の便りがやつ
て来た

○ ○ ○
マリヤンの邦人商店で伯人モ
ツサが働いてゐる番は「三
あるが」「ボルセンが働いて
ゐる店はカイザ・セギがたつ

力行行脚

農村指導人養成へ

開
中堅青年講習會

汗に鍛ふ!

十二月
二日より

農事協會、産組中央會主催で

大膽の戰雲第 堅辛年講習會を開く計畫が交へれることになつた
四段階に入り
在伯統後入る
の血脈に更に
堅神一番の赤
誠脈々と湧る
の由

場所生はコヂア小學校を充てて
二月二日より開始の豫定だが
詳細のプログラムは目下編成
中

とき農事協會
産業組合中央
張を反映して開催期間を通じ

なほプログラムは事變下の緊
急を反映して開催期間を通じ

遊 三二一 捕 投 監
矢齋多葛萬野宮
崎藤田川岡村板
遊 三二一 捕 投 監
林稻山深竹中

OBチーム 記者ク

南里さん送別野球

OB 對記者クラブ
六日正午スタン球場で

後

青年指導に献身者クラブチームの間に一戦が「審判」をすることになった

判審の後最

[illegible]

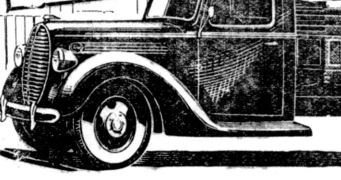
それでも日本人か
最後の勝利は支那だ
嘯

我が帝國が東洋の「路略」により聖戰も愈々第四永遠の平和と世段階に入り、今や祖國は軍民人類の融結増進一如、長期建設の偉業に邁進のため敢然北進するの姿、こゝ母國を遠支の戰野に正義の旗を揚げた異域にある在伯同胞を火と燃える母國民の熱誠に

市
滬

[illegible]

經濟の認識は
フォードのV-8使用で



輸送に際しては汽筒Vモートル
ます、なぜ?? フォードV-8モ
ード代理店にお出で下さい、そ

殺 虫 劑

メトリートル

（硫基酸石）



御申越次第説明書
御送附申上げます

アバヴィット

棉、穀物の種子苗木の消毒
種子の長期保存に効果があります

日本人總代理店

カ ー ザ 東 山

Rua Florencio de Abreu, 74/76 — Phones. 3-1141, 3-1142 e
Caixa Postal, 528 S. Paulo — (Lins 及 Promissão)

OPTICA FOTO CENTRAL LTDA.



AV. SAO JOAO 45 PHONE 2-3214

Predio Martinelli 下

寫眞機 .. 斬新メガネ

其他材料在庫豊富、日本人の方々に信用
ある店、御用命の程.....



輸送に際しては汽筒Vモートルは各方面より絶賛を博して居ります、なぜ?? フォードV-8 モートルは最も経済的故是非フォード代理店にお出で下さい、そして實地にお試し下さい

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIRA
DIRECTOR _____ GERENTE _____
Masasaki Udhira _____ Alfredo Takteuril _____

Redacção — Administração e Officinas
Rua Macaé da Rocha, 1109
Telephones: 7-3225 — 7-3226
Caixa Postal, 375
Endereço Telegrafico: "Nippak"
SUCC. JRSL:

Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-2926
SÃO PAULO — Brasil

Assinaturas
PARA O BRASIL
Por anno\$9000
Por semestre16500
Numero avulso \$500
PARA O EXTERIOR
Por anno100500

Nomeado o substituto do embaixador Sawada

Tokio, 31 — Foi nomeado oficialmente para o substituto do embaixador Sawada o sr. Kazue Kuwajima ex-ministro do Japão na Hollanda.

A cerimonia da posse do novo cargo realizou-se no dia 31, no palacio Imperial e o facto foi officialmente communicado ao governo brasileiro.

Hankow normaliza-se

Hong-Kong, 31 — Oito dias são passados da tomada de Hankow e a população local não mostra mais o desejo de refugiar-se diante do avanço das forças japonezas.

As ruas da cidade retomaram seu movimento commum, embora seja este pequeno. Os refugiados que deixaram a cidade antes encaminharam-se para Macao e pelas colonias britannicas nesta cidade.

A situação militar nos va- rios sectores da China

Tokio, 1 — No curso das ultimas operações na região de Wutaichan, as tropas nipponicas destruíram as bases de cerca de 50.000 guerrilheiros chineses, que se encontravam sob o mando dos generaes Chao Tung, Yang Chang e outros. A base principal desses guerrilheiros encontrava-se na serra da região das montanhas sagradas dos budhistas, provincia de Shansi.

Ao que informa o porta-vóz do ministerio da guerra nipponico, essa acção já se havia iniciado em fins de setembro, afim de libertar as regiões proximas de Peiping, perto das estradas de ferro, dos bandos dos guerrilheiros chinezes. O cerco japonês apertou cada vez mais, até que os guerrilheiros viram-se apertados entre asstenzas do exercito nipponico, fiando anniquilados. Não é possivel deduzir-se desse informe, se os guerrilheiros foram feitos prisioneiros ou se foram mortos.

Segundo revelam os diários nipponicos, os guerrilheiros perderam agora a ultima base de operações, podendo-se considerar como seu unico pon'to de apoio a zona franceza de Tien-Tsin.

Shanghai, 1 — Depois da tomada de Hankow reuni-ram-se as columnas japonezas a noroeste da cidade, com outro grupo que avançava pelo noroeste, ao longo da estrada de Hankow, Tean-fu e Inoshan. O grupo unido prepara-se para a avançada rumo ao oeste, por varios caminhos, ao sul, norte e centro do paiz montanhoso, entre os rios Han e Yang-tse.

Como no mesmo terreno concentram-se grandes unidades chinesas, esperam-se, dentro em breve renhidos combates. A avançada nipponica em direcção occidental fez com que a população abandonasse a cidade de An-lu-fu e Chang, no alto Yang-tsé, notando-se grande affluência de fugitivos. 580 civis que se dirigiam, por meio de navio mercante para Hankow, foram considerados como pertencentes ao exército, por parte das autoridades japonezas, quando, por parte estrangeira, foi assignalado o perigo dessa iniciativa. Nota-se, tambem, que varios desses civis, estão acompanhados pelas respectivas esposas.

Shanghai, 1 — Durante as primeiras horas da madrugada de hoje, tropas japonezas desembarcaram nas costas da provincia de Fu-Kiang, que fica a meio caminho entre Shanghai e Hong-Kong, afim de desalojar definitivamente as forças chinesas de toda região costeira.

O desembarque foi operado nas proximidades de Fu-Tsin, a 40 kilometros a sudoeste de Fu-Chai, não obstante este porto haver sido muito bem fortificado pelas autoridades provinciais chinezas. O ataque nipponico contra Fu-Chai iniciar-se-á provavelmente com cabeça de ponte em Fu-Tsing.

Discurso de despedida pronunciado pelo
embaixador Setsozo Sawada —

Na homenagem prestada pelo Instituto Cultural Nippo-Brasileiro

Durante o jantar offerecido pelos seus amigos e admiradores o embaixador do Japão no Brasil sr. Setsuzo Sawada que deverá partir em breve para o Japão, pronunciou o seguinte discurso respondendo á saudação do sr. Presidente do Instituto Cultural Nippo-Brasileiro: — “Senhor presidente, meus senhores:	Taro, pescador modesto. Um dia elle fez uma viagem ao Ryugu, palacio do Dragão, um palacio de esplendor, de belleza e de hospitalidade, no fundo do mar. Elle foi alvo de um carinhoso acolhimento nesse palacio. Louco de alegria e de prazer, olvidou completamente a fuga do tempo. Elle pensou ter ali passado somente um dia.
--	--

Por ocasião da minha próxima partida para o Japão honraste-me com este magnifico jantar e eu não sei como exprimir-vos os meus agradecimentos. Não contarei com isto, o sr. presidente vem de pronunciar palavras amáveis e corteses acerca do meu paiz e da minha pessoa. Estou profundamente commovido e quero vos testemunhar os meus sinceros agradecimentos. A manifestação desta noite não é senão

Amizade pelo Brasil

sympathias, que me foram mostradas, sem interrupção, nos quatro annos, durante a minha permanencia aqui. E' por certo um grande privilegio para mim ter feito conhecimento com todos os amigos aqui presentes e demais elites do Brasil. Eu vos garanto que não olvidarei jamais a assistencia benevolente e a cooperação preciosa que vós me destes para que eu pudesse cumprir a minha missão neste paiz hospitaleiro. Eu me sinto feliz em lembrar tudo isto. Entre as fabulas japonezas ha uma historia de Urashima

“O Brasil assemelha-se a essa bella vivenda do Ryugu, seja pela magnificencia e a belleza da sua natureza, seja pela temperança do clima, e por muitos outros motivos. Mais do que isso, porém, eu tive a fortuna de conhecer todos os meus amigos aqui presentes e outras altas personalidades nos diversos campos de actividade. A hospitalidade e a sympathie que elles me mostraram durante a minha missão levaram-me ás mais bellas impressões deste paiz. Em todos os meus 30 annos de carreira diplomatica não

Continúa a seguir o curso ligeiramente altista

O CUSTO DA VIDA

Tóquio, Set. — O custo da vida em todo o território nacional continuou a subir durante o mês de julho p. findo, mez em que a tendencia altista que de ha muito sentida entre nós foi mais accentuada, pois, a média dos numeros-indices foi de 210,3, ousejam 1,8% mais em relação ao igual periodo anterior, conforme se vê dos dados estatísticos em nosso poder. (Com base 100 no mês de julho de 1914):

	JUNHO	JULHO
Bebidas e generos alimenticios.....	192	194
Habitacoes.....	233	234
Luz e combustiveis.....	248	242
Roupas.....	204	220
Cultura.....	199	199
Média geral.....	207	210
Para mais em relação ao igual periodo anterior (%)	0,7	1,8

vi jamais uma tão bella harmonia entre a natureza e o homem como no Brasil. Minha admiração, meu apego, e meu amor por este paiz tornou-se maior cada dia que aqui passei".

Como bem sabeis meus senhores, o Brasil e o Japão fizeram, nestes ultimos annos, um desenvolvimento notavel

Propaganda do Brasil

intensificação da colaboração econômica e cultural dos nossos dois países é um exemplo. Sinto-me feliz em constatar que no desenvolvimento dessa amizade preciosa este Instituto jogou um grande papel. Vós fundastes este Instituto há apenas dois annos, mas neste curto prazo, graças aos esforços incansáveis do sr. presidente e de outros membros eminentes,

Para realizar isto, vou valer-me de todas as occasiões para melhor fazer conhecer aos meus compatriotas a realidade brasileira e a actividade deste Instituto. Estou convencido de que os interessados nas coisas do Brasil terão grande prazeres em ouvir e que serão levados a contribuir de qualquer maneira em prol das boas relações nippo-brasileiras.

Antes de terminar, quero-vos afirmar que, se algum de vós e de vossos amigos visitar o Japão, será para mim uma grande felicidade receber os meus bons amigos brasileiros, para os quais a minha modesta casa estará sempre aberta.

constituem um capitulo glorioso nos annaes das relações nippo-brasileiras e que ellas ganharam as sympathias, a admiração e o reconhecimento não só meu como do meu paiz.

Permitta-me eu exprima as minhas ardentes esperanças de que a obra tão auspiciosamente

Em agradecimento, mais uma vez, á amizade sincera com que me honrastes durante a minha permanencia aqui, e tambem pela gentileza destanoite, levando a minha taça, sr. presidente á saude dos meus amigos aqui presentes e á prosperidade do nosso Instituto."

詰らしいものを見ました。此處に居た敵の都隊は約一個聯隊位で、八日に、何處か、十人位が、基地を發し、千日このの硝灰集に着いて死守せよと命令されてゐたやうです。この日誌や二三の書類などには、宋哲元の直系部下、三十七師、大學生軍等の混成部隊に、一人で兵と歩歩して行く兵隊が居るので聞くところから、脚氣などのこれから〇〇の病發まで行くので、やつたので、自動車に乗せてやつた。王西庄に歸ると、恰度連夜終に來て居つた兵站の自動車、それに頼んで乗せて貰つた。敵兵所の柱に捕虜が一人繫

心腹に三關志の勇將はかゝる
の昔大軍を動かして戦ひ、か
け廻つたところだらうが、な
にしろ大變だつたらうと思ひ
それにも増して、昔、こんな
ところまでやつて來て支那人
を恐れさせた日本の優越はえ
らいものだとか更感心した。
麥畑の中を避難する支那農民
が続いて行く。彼等は前後左
右を軍隊に依つて取り圍まれ

いからと云つて用ゐようとする
と、起しに立つたと見えや背の
高い長い髪を生やした少尉が
軍服の釦を止めるから奥か
ら出て来た。高き少佐が、大
變でしたね、御苦勞でした、
といふといや、と謙遜したが
少し後の、ほんとに大變でし
た」と、感慨無量のやうな日
の下附け加へた。戰闘は昨日の
朝の九時半頃から初まりました
た、占領しては六時で六時半
間掛りました。敵は頗る頑強
でして、又、實に驚くほど勇
敢でした、なかなか逃げるど
ころではなかつた、團壁の上に身
體を乗り出して射撃するものや
手榴弾を投げるものなどをも
つた。突入後も各所で大格闘を
演じました、すぐこの表

手交した彈藥の覺悟だ、二十二夜
戦死傷者氏名聞き、表に出た。
土の家ばかりだが、團壁が
あるだけではない家が書き
いた。戸口や扉には例の大きな
紙が軒並に張つてゐる。
軒には例の「紫雲車東」
「天地皆春」人生春暮「根深」
感嘆ごとあり、扉には
春爲一歲首
櫻花百花魁
などがある。土の壁には白
紙で、大きく「打倒日本地國
主義」「武裝地來保衛郷土」散
迎浴血文獻將士」放逐日本本
我々が歸る時に、兵隊
は來た時と同じやうに皆々と
眠つて居た。左は傍を通る時
には靴音を立てぬやうにして

長短紙を千手祈問居る、玉珍上言」を以て終つて居る。

この「短い紙に長い情」を託つ手紙を読む日本の兵隊を雷雷丸は極めて無表情な顔で眺めて居る。既に彼は假令金糸して居るに違ひない。夕刻、銃を持つた三人の兵隊に護られ去られた。大抵に小さくなつたり、麥畑の海に見えなくなつてしまつた。

五月十二日。

夜明けとともに出發。相も變らぬ海のごとき麥畑の中の軍である。左右にも蛇蝎と竊いた部隊が黄塵の中の進軍して行く。梅本君と話したのはこの、この廣漠たる平原は昔徐州に居處を遷へた原形は昔

に散亂し、居る。ふん、煙硝の臭ひが、そこどころに突かり服を脱ぎ、乗てゐるのは、便衣に着換へて逃けた兵隊、故になつた真黒に焦げた兵隊、居るの中で真黒本部を聞く。家の中や、表にアンペラを敷いて兵隊は大勢ぐつすりとなつて居る。その熟練の姿には一種の婆娑たるものが感じられた。それはひとつの死闘を終へたものが次の死闘まで待てぬ泥のごとき安眠である。何かしら胸が痛かつた。

警備に焼つて居るのは吉田部隊で、亂雑に取り入らした低い家の部長部に入ると、恰度隊長はお休みですと兵隊が云ふ。やはりこの安眠を破ることすまなく思つたのか、橋下少佐が、それでは後で探し出しました、残念ながら」と一歩部長は聲を落とした。此の方まだい清水部隊への討ち、我々は清水部隊のすが、清水部隊隊長殿も敵兵格闘され、危境一渡といふ様でした。將校も少し痛みました。兵隊は實によく戦つてくれました。敵は占領後も回には進軍して来ましたが、是では速く擊退しました。

南産品が澤山ありますが、御覽になりましたか。チエウコロ關銃、蜂の巣のやうな穴のあつた鉢、鉢の果のやつ、小銃一個、藥類等が部屋一杯ある。旅長の印の招いた紙片がある。

歩 榴彈 一萬粒
輕機槍彈 八千三百三十粒
手榴彈 六百二十粒

に參加したるも鐵砲をくれぬ
かつた。給與、米一斤、
粥食物はくれぬ、給料
ケ月一元八仙、多くも二
三十仙位。募集廣告には八
三十仙といつたが、食料
料等を差引いた、煙草も
いた。板橋東北の小隆集
國で、氣が附いたら味方
逃げたしまつて自分人
て居つた。小波の外系統
て居た由。革製、の財布
子に穴のあいた一錢厘と、
人つて居る。

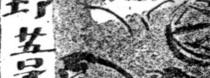
擧げてみると、その手紙は
あつた。その思ひを述べた
あつた。當國東の親愛の
哥來手書十六號接得心裏
的の本意に、初まつて「我
は歸郷想我爲爾寫想結爲
夫幫我夫幫我夫幫我夫幫

徐州會戰從軍日記

來冬と兵隊

火

千て居る。通譯が色々といひ
 遺居る。誰やらに似てゐると
 したつたら、ふいと人の顔が浮
 だ。色が少し黒いがつく
 だ。さういふ顔の、おどし
 が、聲は低く、おどし
 げから答へて居る。三十二歳
 の、姓名は雷國東、百二十三師



野々平

[illegible]

聖市イルマン・シンブリシアナ街一五
電話 二・七四二五

皆様の都ホテル

西田盛

Pensão Nippon
 S. Hayashita
 10-12, n. de Campos, 437
 Campinas

眼科
 婦人科
 小兒科
 持リウマ
 電話一七七番
 Av. São Paulo, 100
 Martin, N. 3-0

館主 林田米敏

カネビルナス市ベル
 シボス街
 ノデ・カ

日本旅館



ブラ拓
 バストス移住地

借地人又は地主となる着實なる家族を歓迎

養蠶王國——バストス移住地

C. Postel, 98 - Bustos - S. Sorocaba

S. Hatanaka

養蠶家募集

云へよなどと云つて居る。
 ら、文句があつたら紹介しに
 へよなどと云つて居る。

中央メスキウタ
 マリヤ譯
 中央メスキウタ

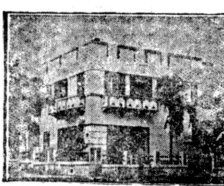
東齒科醫院
 本院 中央メスキウタ
 分院 ツイラ・ツエラ
 (第二)メスキウタ

千田

京都市下夜久野
 村字畑二二
 赤井新吾

昭和十三年十月
 在サンパウロ
 帝國總領事館

醫學士 今田求



た女が多い。危害を加へられ
ないといふことが判ると、立
ち止つて軍隊の通り去るの
表情は、あるけれども、絶不
感の表情はない。小休にする
と、部落では支那人が兩手
に振下げられた鶏を捕へて
來て、提供しようとする。
兵隊が鶏を追つかけ居ると
竹柵を持つて來て、手傳ふの
だ殺した豚の皮を割いでくれる

右往左往して居る。脈が解いたやうに疾走して居る。支那の脈は清のやうであり、耳が廣くて、鼻さへ長かつたに學のやうでもある。今迄通つて來た部落では土民の姿を見かねたつたが、何處か此の附近に集合して居たに違ひない大變な驚がある。牛や驢馬を引つ張つたが、籠に色んなものを入れて擔いだり、二輪車に山のやうに家財道具を積ん

岡山齒科
FACULTY OF DENTISTRY
ESTD 1908
SAO PAULO

左記の者現住所承知致慶に
本人又は御存知の向は當館
御一報相煩度
關西縣三猪郡大川町
尋人
鹿兒島縣合良郡清水村
茂島 幾太郎